

公立大学法人青森県立保健大学
令和2年度 業務実績評価書

令和3年8月

青森県地方独立行政法人評価委員会

目 次

第一 評価の基本的な考え方	1
第二 評価の結果	3
1 全体評価	
(1) 総評	3
(2) 業務の実施状況	4
(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等	4
2 項目別評価	
(1) 教育に関する目標を達成するための措置	5
(2) 研究に関する目標を達成するための措置	6
(3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置	6
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	7
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	7
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	8
(7) その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置	8

第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2第1項及び第3項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の令和2年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。

なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- (1) 教育に関する目標を達成するための措置
- (2) 研究に関する目標を達成するための措置
- (3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
- (7) その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置

〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、令和2年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	伊 藤 成 治	国立大学法人弘前大学教育学部 教授
委員（委員長職務代理者）	大 矢 奈 美	青森公立大学経営経済学部 教授
委員	倉 成 美納里	日本公認会計士協会東北会青森県会 公認会計士
委員	田 中 正 子	株式会社エール・キャリアスタッフ 代表取締役
委員	宍 戸 俊一郎	日本政策金融公庫 青森支店 国民生活事業 事業統轄
専門委員（大学関係）	熊 谷 崇 子	保健師

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第三期中期目標期間（令和2年度から令和7年度まで）の初年度である令和2年度は、学生へのキャリア支援の充実等により、前中期目標期間に引き続き、各種国家試験合格率及び就職率について高水準を維持しており、高い成果を上げたと認められる。

年度計画については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、IT環境の整備を速やかに行うなどのオンラインによる取組を行った結果、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

(2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として年度計画に定めた事項は着実に実施されている。

<評価結果の概要>	特筆すべき 5	順調 4	おおむね 順調 3	やや遅れ 2	著しく遅れ 1
(1)教育に関する目標を達成するための措置		○			
(2)研究に関する目標を達成するための措置		○			
(3)地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置		○			
(4)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置			○		
(5)財務内容の改善に関する目標を達成するための措置		○			
(6)教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置		○			
(7)その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置		○			

(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

2 項目別評価

(1) 教育に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
------------------------	----	--------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載 39 項目中 9 項目が「年度計画を上回って実施している」、29 項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進に係る項目については、修了年次での学会発表件数が目標に届かなかったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた項目はあったものの、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

コロナ禍における感染対策を万全にした上での授業の実施や、国家試験合格率の維持など、大学ではかなりの努力と工夫をもって対応がなされたものと評価する。どの項目においても学生第一の姿勢が感じられ、国家試験合格率と就職率の高さを高く評価する。

※1 各種国家試験合格率及び就職率

R2 主な国家試験合格率

看護師 98.1%、保健師 100.0%、助産師 100.0%、理学療法士 96.8%、社会福祉士 60.9%、精神保健福祉士 93.8%、管理栄養士 93.9%。

R2 卒業生就職率

学部全体 98.6%

(2) 研究に関する目標を達成するための措置	評価	4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
-------------------------------	-----------	----------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載5項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

ヘルスプロモーション戦略研究センターの新設により若手研究者の支援と育成が積極的に進められている。また、公開講座や研究発表会の一部をオンラインで開催するなど、コロナ禍においても工夫しながら研究成果の社会への還元に取り組んでいる。

<その他の意見>

今後も継続して研究活動を強化すること、また、中期計画に掲げる「幅広く発信する」観点から、より多様なチャンネルを活用するなどのさらなる「発信力の強化」を期待する。

(3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置	評価	4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
---------------------------------------	-----------	----------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載11項目中2項目が「年度計画を上回って実施している」と認められ、9項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、当初計画通りの実施ができなかった事業（海外大学の研修受け入れ・訪問事業）もあるが、ヘルスプロモーション戦略研究センターによる「新たな生活様式」をヘルスプロモーションの視点から工夫する活動や、キャリア開発センターがセミナーの代替事業として取り組んだ若者の県内定着を促すテレビ番組の企画・放映は、大学の強みを生かした取組として評価する。

<その他の意見>

地域定着枠については、今後の期待も含め今後の取組みを注視したい。

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

評価

3：中期計画の達成に向けて
おおむね順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載 11 項目中 10 項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、内部監査の実施に係る項目について、一部未実施となったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

以上を総合的に勘案し「3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

人材育成プログラムの改正や職員研修の実施等のスタッフ・ディベロップメントの取組に加え、職員および教員評価の結果を業務改善に活用するなど、着実な取組が行われている。

<今後の課題とする事項>

内部監査については、今年度の計画に沿って一部は既に実施したとのことであるが、スケジュール管理の徹底により確実な実施を強く期待する。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

評価

4：中期計画の達成に向けて
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載 6 項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

数値目標を上回る外部研究資金の獲得や、清掃業務委託の一般競争入札による大幅な経費節減など実効性のある取組を行っている。

<その他の意見>

職員宿舎の有効活用については、早期に具体的な改善策を検討し、実施することが望まれる。

その他の委託業務についても、前例にとらわれずに、契約方法の工夫等により大学運営経費の節減に努めて頂きたい。

(6)	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
------------	---	-----------	--------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載6項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

教員評価の実施、各部局の自己点検、授業改善への取組など、着実に行われていると考える。また第三者評価に対しても適切に対応し、特に公益財団法人大学基準協会の改善勧告に対しすべての項目をクリアしている点が評価できる。

(7)	その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
------------	----------------------------	-----------	--------------------------

<評価の理由>

年度計画の記載6項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。